2023年度

厚生労働省指定臨床研修病院年次報告等

・様式10
・様式10 別紙1～5
・様式10 別表

津軽保健生活協同組合

健 生 病 院

様式 10

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2023 年 4 月 1 日

都道府県知事　殿

病院名　　津軽保健生活協同組合　健生病院
開設者　　津軽保健生活協同組合　安田　肇

医師法第 16 条の２第１項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第９条に基づき、１．研修プログラムの変更、２．研修プログラムの新設を届け出ます。
（研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に〇をつけてください。）

１．基幹型臨床研修病院　２．協力型臨床研修病院　（報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に〇をつけてください。）

・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－１－

病院施設番号：　030772　　臨床研修病院の名称：　津軽保健生活協同組合　健生病院

記入日：西暦　2023 年　4 月　1 日

病院施設番号 （基幹型、協力型記入） 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。	030772	臨床研修病院群の名称 （基幹型、協力型記入） 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称 津軽保健生活協同組合健生病院基幹型病院群 番号 0307726

作成責任者の氏名及び連絡先 （基幹型、協力型記入） 本報告書の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	ﾌﾘｶﾞﾅ　ｻｻｷ 氏名（姓） 佐々木	ﾕｳﾄ （名） 悠人	役職 医局医学生課　研修担当事務 （内線　7632） （直通電話（0172）55―7717） e-mail：ao-min9@kensei-hp.com （携帯電話のメールアドレスは不可とします。）

１．病院の名称 （基幹型、協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾂｶﾞﾙﾎｹﾝｾｲｶﾂｷｮｳﾄﾞｳｸﾐｱｲ　ｹﾝｾｲﾋﾞｮｳｲﾝ 津軽保健生活協同組合　健生病院
２．病院の所在地及び二次医療圏の名称 （基幹型・協力型記入）	〒 0 3 6－8 5 1 1　（青森　都・道・府・(県)） 弘前市大字扇町 2 丁目 2 番地 2 電話：(0172)　55―7717　ＦＡＸ：(0172) 55―7743 二次医療圏 の名称：津軽地域保健医療圏
３．病院の開設者の氏名（法人の名称） （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾂｶﾞﾙﾎｹﾝｾｲｶﾂｷｮｳﾄﾞｳｸﾐｱｲ 津軽保健生活協同組合
４．病院の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地） （基幹型・協力型記入）	〒 0 3 6－8 0 4 5　（青森　都・道・府・(県)） 弘前市大字野田 2 丁目 2 番地 1 電話：(0172) 33―7515　ＦＡＸ：(0172) 36―3231
５．病院の管理者の氏名 （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾀｹｳﾁ　　ｶｽﾞﾋﾄ 姓：竹内　　名：一仁
６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 （基幹型記入）	＊　別紙１に記入 研修管理委員会の全ての構成員（協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。）について記入してください。
７．病院群の構成等 （基幹型記入）	＊　別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。
８．病院のホームページアドレス （基幹型・協力型記入）	https://www.kensei-hp.jp/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号：　030772　　臨床研修病院の名称：　津軽保健生活協同組合　健生病院

		※	
９．医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤：　60 名、非常勤（常勤換算）：　1.8 名 計（常勤換算）：　61.8 名、医療法による医師の標準員数：　24.6 名 ＊　基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式３に記入
10．救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦　2017 年 10 月 1 日、告示番号：第　908　号
	医療計画上の位置付け		１．初期救急医療機関　②．第二次救急医療機関　３．第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		①．有　（　205.05　）m^2　０．無
	救急医療の実績		前年度の件数：13440 件（うち診療時間外：7578 件） １日平均件数：36.8 件（うち診療時間外：20.8 件） 救急車取扱件数：3066 件（うち診療時間外：1929 件）
	診療時間外の勤務体制		医師：　3 名、看護師及び准看護師：　2 名
	指導を行う者の氏名等		＊　別紙４に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系（①．有　０．無）　外科系（①．有　０．無）　小児科（①．有　０．無） その他（　）
11．医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1.一般：282 床、2.精神：＿＿床、3.感染症：＿＿床 4.結核：＿＿床、5.療養：＿＿床
12．診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			＊　別紙２に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13．病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1.一般：13.0 日、2.精神：＿.＿日、3.感染症：＿.＿日 4.結核：＿.＿日、5.療養：＿.＿日
14．前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数：　183 件、異常分娩件数：　40 件
15．臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績：　5 回、今年度見込：　5　回　※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記入
	指導を行う病理医の氏名等		＊　別紙４に記入
	剖検数		前年度実績：　5　件、今年度見込：　5　件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室　①．有 ０．無　（　）大学、（　）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16．研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		１．有（単身用：　戸、世帯用：　戸） ⓪．無（住宅手当：　50,000　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室		１．有（　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17．図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（　47.511）m^2
	医学図書数		国内図書：　2763　冊、国外図書：　140　冊
	医学雑誌数		国内雑誌：　65　種類、国外雑誌：　5 種類
	図書室の利用可能時間		0：00　～24：00　24 時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース（１．有　０．無）、教育用コンテンツ（１．有　０．無）、 その他（　UpToDate、医学中央雑誌 web 版、クリニカルキー、医書.jp　）
			利用可能時間（0：00～24：00）24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター（１．有　０．無）、 その他（　）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－３－

病院施設番号：　030772　　臨床研修病院の名称：　津軽保健生活協同組合　健生病院

18. 病歴管理体制 （基幹型・協力型記入）	病歴管理の責任者の氏名及び役職		ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾐｸﾆ　ｱｻｺ 氏名（姓）三國　（名）麻子 役職　主任補佐
	診療に関する諸記録の管理方法		１．中央管理　２．各科管理 その他（具体的に：　　）
	診療録の保存期間		（　文書：20　、電子媒体：永　）年間保存
	診療録の保存方法		１．文書　２．電子媒体 その他（具体的に：文書・電子媒体　　）
19. 医療安全管理体制 （基幹型・協力型記入）	安全管理者の配置状況		①．有（　１　名）　０．無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。
	安全管理部門の設置状況		職員：専任（　2　　）名、兼任（　7　　）名 主な活動内容：例）「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 ・医療安全委員会の開催 ・委員会への各職場からの安全報告書の提出促進 ・報告を集計分析し、結果を職員にかえす ・対策を院所基幹会議に提出する ・医療安全規程の改訂
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況		患者相談窓口の責任者の氏名等： ﾌﾘｶﾞﾅ　ｸﾄﾞｳ　ｻﾄｺ 氏名（姓）工藤　（名）聡子 役職サポートセンター　センター長 対応時間（　8：30　～　16：40　）24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：　①．有　０．無
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		①．有　０．無 指針の主な内容： 安全文化の醸成と定義を図る。システム全体を安全性が高く質の良いものにしていくために、組織的対策を講じ、医療安全の確保に努める。患者主体の医療と信頼される医療を提供する。これらを推進するために、医療安全管理者、感染管理者、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医療放射線安全管理責任者の体制で行っている。
	医療に係る安全管理委員会の開催状況		年（12）回 活動の主な内容： ・医療安全報告書の統計及び警鐘事例の共有 ・全国の医療安全に関するニュースの共有 ・院内医療安全ルールの検討、ニュースの発行 ・院内ラウンドにて評価・対策
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		年（2～4）回 研修の主な内容： ・入職時医療安全研修 ・病院として医療安全学習会を年 2 回開催 ・CVC 挿入のインストラクター制研修 ・委員会の活動報告と事例検討、分析法の学習と実践　等
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策		医療機関内における事故報告等の整備：　（1.）有　０．無 その他の改善のための方策の主な内容： ・医局会、看護長会議、管理部会議への参加 ・インシデント報告書を基に事故関連部署への介入 ・院内医療安全学習会、研修の企画 ・情報の調査、分析、解決策立案、実践、評価を PDCA サイクルで実践
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			修了：　8 名 中断：　名
21. 現に受け入れている研修医の数 （基幹型・協力型記入）			

	前々年度	前年度	当該年度
１　年	6	10	2

			２　年　6　8　9
22. 受入可能定員 （基幹型・協力型記入）	許可病床数（歯科の病床数を除く。）から算出		許可病床数（　282　）床÷10＝（　28.2）名
	患者数から算出		年間入院患者数（　6,083）人÷100＝（　60.83　）名
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 （基幹型・協力型記入） 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。			1. 精神保健福祉士：　名（常勤：　名、非常勤：　名） 2. 作業療法士：　名（常勤：　名、非常勤：　名） 3. 臨床心理技術者：　名（常勤：　名、非常勤：　名） 9. その他の精神科技術職員： ＿＿＿名（常勤：　名、非常勤：　名）
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 （基幹型記入）			①. 有　（評価実施機関名：NPO 法人卒後臨床研修評価機構(2021 年 3 月 12 日)） ０. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表　①. 有　０. 無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：　030772　　臨床研修病院の名称：　津軽保健生活協同組合　健生病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 （基幹型記入）			＊　別紙５に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			女性　１年次研修医（　　）名　２年次研修医（　　）名 男性　１年次研修医（　　）名　２年次研修医（　　）名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 （基幹型・協力型記入）	院内保育所		院内保育所の有無　（１．有　⓪．無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（　　時　　分 ～　　時　　分） 病児保育　（①．有　０．無） 夜間保育　（１．有　０．無） 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（１．可　⓪．不可）
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（１．有　⓪．無） その他の補助（具体的に：　　）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所　（１．有　⓪．無） 授乳スペース　（１．有　⓪．無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）		（　　）
	研修医のライフイベントの相談窓口		１．有　⓪．無 窓口の名称がある場合記入（　　） 窓口の専任担当　１．有（　　名）　０．無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入（生協本部総務　　） 窓口の専任担当　①．有（　１名）　⓪．無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 （基幹型・協力型記入） プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称： **津軽保健生活協同組合　健生病院初期医師臨床研修プログラム** プログラム番号：030772601
29. 研修医の募集定員 （基幹型記入）			１年次：　10 名、２年次：　10 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 （基幹型記入）	研修プログラムに関する問い合わせ先		ﾌﾘｶﾞﾅ　ｻｻｷ　ﾕｳﾄ 氏名（姓）佐々木　（名）悠人 所属　健生病院　医局医学生課　役職 電話：(0172) 55―7717　ＦＡＸ：(0172) 55―7743 e-mail：ao-min9@kensei-hp.com URL：http://aomin.jp/medico/junior/
	資料請求先		住所 〒 0 3 0 ― 8 5 1 1　（　青森　都・道・府・県） 弘前市大字扇町２丁目２番地２ 担当部門 担当者氏名 ﾌﾘｶﾞﾅ　ｻｲﾄｳ　ｼｭﾝｽｹ 姓　齊藤　名　駿介 電話：(0172) 55―7717　ＦＡＸ：(0172) 55―7743

			e-mail：kensei-igakusei@kensei-hp.com URL：http://aomin.jp/medico/junior/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：　030772　　臨床研修病院の名称：　津軽保健生活協同組合　健生病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）	募集方法		①．公募 ２．その他（具体的に：　　）
	応募必要書類 （複数選択可）		①．履歴書、②．卒業(見込み)証明書、③．成績証明書、 ④．健康診断書、５．その他(具体的に：　　)
	選考方法 （複数選択可）		①　面接 ②　筆記試験 その他（具体的に：　　）
	募集及び選考の時期		募集時期：　７月　１日頃から 選考時期：　７月　１日頃から
	マッチング利用の有無		①．有　０．無
31．研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）			概要：＊　別紙３に記入 （作成年月日：西暦　2023 年 4 月 1 日）
32．プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊　プログラム責任者の履歴を様式２に記入 ＊　副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式２に記入			（プログラム責任者） ﾌﾘｶﾞﾅ　ｷﾑﾗ　ｿｳｲﾁﾛｳ 氏名（姓）木村　氏名（名）宗一郎 所属　役職 健生病院　整形外科　科長 （副プログラム責任者） １．有（　名）　⓪．無
33．臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。			＊　別紙４に記入
34．インターネットを用いた評価システム			１．有（　⊙EPOC　・その他（　）　）　０．無
35．研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）			西暦　2023 年 4 月 1 日
36．研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、２に〇をつけて、以下の各項目について記入してください。）		１．基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ⓪．病院独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別		①．常勤　２．非常勤
	研修手当		一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（382,000 円） 賞与／年（　937860 円） 二年次の支給額（税込み） 基本手当／月(402,000　円) 賞与／年　(970860 円) 時間外手当：　①．有　０．無 休日手当　：　①．有　０．無
	勤務時間		基本的な勤務時間（　8：30～16：40　）24 時間表記 休憩時間（　12：00～13：00　） 時間外勤務の有無：①．有　０．無
	休暇		有給休暇（１年次：　12 日、２年次：　12 日） 夏季休暇（１．有　⓪．無） 年末年始（①．有　０．無） その他休暇（具体的に：創立記念日、メーデー、お盆　）
	当直		回数（約　4 回／月）
	研修医の宿舎（再掲）		１．有（単身用：　戸、世帯用：　戸） ⓪．無（住宅手当：　50,000 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室（再掲）		①．有（　１　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
	社会保険・労働保険		公的医療保険（　健康組合保険　）
			公的年金保険（　厚生年金保険　）
			労働者災害補償保険法の適用（①．有　０．無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（１．有　⓪．無）
			雇用保険（①．有　０．無）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－６－

病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：　津軽保健生活協同組合　健生病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理		健康診断（年　2　回） その他（具体的に　　）
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（①．する　０．しない） 個人加入（１．強制　⓪．任意）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：①．可　０．否
			学会、研究会等への参加費用支給の有無：①．有　０．無
	院内保育所（再掲）		院内保育所の有無　　（１．有　　⓪．無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（　　時　　分　～　　時　　分）
			病児保育　（０．有　⓪．無） 夜間保育　（１．有　⓪．無）
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（０．可　⓪．不可）
	保育補助（再掲）		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（１．有　⓪．無）
			その他の補助（具体的に：　　）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）		休憩場所　　（１．有　⓪．無） 授乳スペース　（１．有　⓪．無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）		（　　）
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）		１．有　　⓪．無 窓口の名称がある場合記入（　　） 窓口の専任担当　１．有（　　名）　０．無
	各種ハラスメントの相談窓口（再掲）		窓口の名称を記入（　生協本部総務　　） 窓口の専任担当　①．有（　１名）　０．無
37. 研修医手帳（基幹型記入）			①．有　０．無
38. 連携状況（基幹型記入）			＊　様式６に記入

※欄は、記入しないこと。

（記入要領）

１　研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に〇をつけること。

２　報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「１．基幹型臨床研修病院　２.協力型臨床研修病院」の番号に〇をつけること。

３　特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の４月１日現在で作成すること。

４　既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。

５　各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。

６　（基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。

７　（１．有　０．無）のように選択形式の項目は、いずれかに〇をつけること。

８　項目番号１から 26 までについては、年次報告において記入すること。

９　研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 27 から 37 までについても記入すること。

10　※欄は、記入しないこと。

11　「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とすること。

12　「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13　「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14　「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

（１）「医療法第 21 条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成 10 年６月 26 日付け健政発第 777 号・医薬発第 574 号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

（２）「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。

（３）「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※　換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の１週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の１週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

（４）「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

（５）「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第 19 条第１項第１号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の１日平均とすること。）。

※　算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52\right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第 43 条の２に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

（６）当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式３に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15　「救急医療の提供の実績」欄について

（１）「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和 39 年厚生省令第 186 号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。

（２）「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に〇をつけるものであること。

（３）「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「１．有」に〇をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「０．無」に〇をつけること。

（４）「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、全ての件数）、「１日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365 又は 366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

（５）「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

（６）「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙４に記入すること。

（７）「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に〇をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16　「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17　「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17　「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日０時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※　算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2\text{（新入院患者数＋退院患者数）}} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

18　「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19　「臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況」欄について

（１）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したＣＰＣの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。

（２）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。

（３）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「１．有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「０．無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（　　）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（　　）病院」に当該病院名を記入すること。

20　「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について

（１）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「０．無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律○○円、最低○○円から最高○○円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「０円」と記入すること。）。

（２）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「０．無」に○をつけること。

21　「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について

（１）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「１．有」に○をつけ、利用できない場合には「０．無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

（２）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（　　）」にその内容を記入すること。

22　「病歴管理体制」欄について

（１）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「１．中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「２．各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「１．文書」、電子媒体により保存している場合には「２．電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。

23　「医療安全管理体制」欄について

（１）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「１．有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「０．無」に○をつけること。

（２）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。

（３）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「１．有」に○をつけ、有さない場合には「０．無」に○をつけること。

24　「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で 1 年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。

25　「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。

26　「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。

27　「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。

28　「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、

（１）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「１．有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「０．無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもに使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「１．可」に○をし、預けることができない場合は「０．不可」に○をすること。

（２）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。

（４）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（１）～（３）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。

（５）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。「１．有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に○をすること。

（６）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「０．無」に○をすること。

29　「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。

30　「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「１．有」を選択した場合は、EPOC かその他を選択すること。

31　「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている１年次及び２年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32　「研修医の募集及び採用の方法」欄について

（１）「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「１．公募」に〇をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに〇をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに〇をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（４）「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。

（５）「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「１．有」に〇をし、マッチングを利用しない場合には「０．無」に〇をすること。

33　「研修医の処遇」欄について

（１）「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、２に〇をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、１に〇をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、２に〇をつけること。

（２）「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、１年次及び２年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「１．有」に、支給しない場合には「０．無」に〇をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

（３）「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「１．有」に、ない場合には「０．無」に〇をつけること。

（４）「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、１年次及び２年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに〇をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

（５）「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

（６）「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（　　）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（　　）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに〇をつけること。

（７）「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

（８）「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに〇をつけること。

（９）「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに〇をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに〇をつけること。

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（　令和４年度開催回数　３回）

病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

氏名	所属	役職	備考
タケウチ　カズヒト 竹内　一仁	健生病院	院長	研修管理委員長
タシロ　マコト 田代　実	健生病院	副院長	研修管理副委員長
キムラ　ソウイチロウ 木村　宗一郎	健生病院	整形外科科長	プログラム責任者
オガワ　ヨシヒロ 小川　克弘	青森県医療薬務課	良医育成支援特別顧問	外部評価委員
セキヤ　オサム 関谷　修	藤代健生病院	院長	研修実施責任者
ナイトウ　タカユキ 内藤　貴之	あおもり協立病院	副院長	研修実施責任者
ドウミキ　キミヨシ 百成　公美	生協さくら病院	院長	研修実施責任者
タムラ　シゲル 田村　茂	川久保病院	院長	研修実施責任者
オダギリ　コウキ 小田桐　弘毅	国立病院機構 弘前総合医療センター	副院長	研修実施責任者
カマダ　タカアツ 鎌田　孝篤	弘前脳卒中リハビリテーション センター	院長	研修実施責任者

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（　令和４年度開催回数　３回）

病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

氏名	所属	役職	備考
ハラ　トオル 原　徹	健生黒石診療所	所長	研修実施責任者
イシモリ　シンジ 石森　伸二	津軽医院	院長	研修実施責任者
ツガワ　ノブヒコ 津川　信彦	健生五所川原診療所	所長	研修実施責任者
サワオカ　タカユキ 澤岡　孝幸	中部クリニック	所長	研修実施責任者
サカト　ケイイチロウ 坂戸　慶一郎	八戸生協診療所	所長	研修実施責任者
イイダ　トシノリ 飯田　寿徳	健生クリニック	所長	研修実施責任者
イソジマ　トシヒト 磯島　寿人	協立クリニック	所長	研修実施責任者
ウキタ　アキヒコ 浮田　昭彦	さわやかクリニック	所長	研修実施責任者
イズミヤ　マサヒト 泉谷　雅人	健生病院	事務局長	
コシタ　ジュンコ 越田　潤子	健生病院	総看護長	

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（　令和４年度開催回数　３回）

病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

氏名		所属	役職	備考
ツシマ　ケイ		健生病院	技術部長	
對馬	圭			
イトウ　シノブ		弘前 SP 研究会	事務局長	
伊藤	しのぶ			
シモムラ　ヒロオ		健生病院	医局医学生課課長	
下村	博央			

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

病院施設番号：030772

区　　分	内科	救急部門	外科	麻酔科（部門）	小児科	産婦人科	又は 産科	又は 婦人科	精神科	病院で定めた必修科目の診療科 整形外科	病院で定めた必修科目の診療科 リハビリテーション科	病院で定めた必修科目の診療科	その他の研修を行う診療科 緩和ケア科	その他の研修を行う診療科	その他の研修を行う診療科	合計
年間入院患者実数 （）内は救急件数又は分娩件数	3315	(13440)	957		308	（　）	355 (233)	196		557	173		222			6083
年間新外来患者数		8135	409		3765		254	880		605	0		12			14183
１日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	（　　）	64.8 (292)	40.3 (243)	（　　）	50.0 (292)	（　）	19.0 (243)	46.2 (243)	（　）	64.1 (243)	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
平均在院日数	10.8		7.8		3.0		5.4	6.2		14.9	35.2		13.9			
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	15 （ 10 ）	5 （ 4 ）	7 （ 4 ）	2 （ 2 ）	5 (3)	3 (2)	（　）	（　）	2 (2)	3 (3)	4 (2)	（　）	2 (1)	（　）	（　）	48 （ 33 ）

※　「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※　「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　2022 年度分）

臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

病院施設番号：030772

基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
津軽保健生活協同組合 健生病院	内科	9	9	8	8	7	8	8	8	8	5	4	3	6
	救急部門	2	1	1	1	2	2	3	3	3	2	3	3	3
	外科	2	1	2	2	3	4	4	4	2	1	2	1	1
	小児科	1	1	2	2	2	2	2	2	3	2	1	1	2
	産婦人科		1	1	1	1	1	2	2	2	1	2	2	2

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　2023 年度分）	臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院 病院施設番号：030772

基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
津軽保健生活協同組合 健生病院	内科	6	5	6	5	6	7	4	2	5	5	4	2	
	救急部門		1	1					1	1	1	2	2	2
	外科					1	2	1	1	1		1	1	1
	小児科	1					1	1	1	1				
	産婦人科	2	2			2	2	1		1	1	1		

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：030772601

病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

臨床研修病院群番号：　0307726　　臨床研修病院群名：津軽保健生活協同組合健生病院基幹型病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	津軽保健生活協同組合　健生病院初期医師臨床研修プログラム
2. 研修プログラムの特色	1). 外来研修を重視したステップアップ研修。医療面接、身体診察の現場を確認するなど、習熟度を確認し段階的に研修を行う。 2). 救急外来は専属の指導医のもと研修。研修到達点の確認のため、救急 OSCE を実施。 3). 整形外科的疾患が増加している中、整形外科研修を外来領域として必修科に位置づけている。 4). 地域保健・医療の分野は診療所で研修を行い、地域づくりの視点を養う。 5). 月１回、医療生協組合員で構成される「班会」等に講師として参加。地域での予防活動の実践を学び、また、地域の人々の交流を通じ、地域の医療ニーズを知る機会と位置づけている。
3. 臨床研修の目標の概要	プライマリヘルスケアを担い得るすべての臨床医に必要な基本的知識、技術、態度、また良好な医師－患者関係を構築するためのコミュニケーション能力を修得し、チーム医療のリーダーとして成長できる。医療を患者・地域住民との「共同の営み」としてとらえ、疾病を生活や労働との関係でとらえることができる。
４．研修期間	（　２　）年　（原則として、「２年」と記入してください。）
備考	研修後そのまま専門研修に入り３年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 研修後そのまま専門研修可能

５．臨床研修を行う分野

研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）

＊　同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。

＊　研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。

＊　選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。

		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
（記入例）　ｘｘ科		1234567	○○　病院	○週	○週
必修科目・分野	内科	030772	健生病院	38 週	2.5 週
		030812	あおもり協立病院		
		096412	川久保病院		
		032024	健生クリニック		
		126826	協立クリニック		
	救急部門	030772	健生病院	8 週	
	地域医療	032017	健生五所川原診療所	6 週	一般外来　2 週 在宅診療　2 週
		032018	健生黒石診療所		
		032019	津軽医院		
		032021	中部クリニック		

		032022	八戸生協診療所		
		126827	さわやかクリニック		
	外科	030772	健生病院	6週	2週
	小児科	030772	健生病院	6週	2週
		096412	川久保病院		
	産婦人科	030772	健生病院	5週	
	精神科	030811	藤代健生病院	5週	
		070023	生協さくら病院		
	一般外来			週	
病院で定めた必修科目	整形外科	030772	健生病院	6週	1.5週
	リハビリテーション科	030772	健生病院	4週	0週
		096412	川久保病院		
				週	
選択科目	HCU	030772	健生病院	20週	0週
	眼科	096412	川久保病院		
	麻酔科	030772	健生病院		
		030037	国立病院機構弘前総合医療センター		
	耳鼻咽喉科	030037	国立病院機構弘前総合医療センター		
	泌尿器科	030037	国立病院機構弘前総合医療センター		
	内科	070033	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター		

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低〇週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大〇週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
研修プログラムに規定された４週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修を並行研修で行う場合、残りの週数としてみなす休日・夜間の当直回数　約〇〇回
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・〇〇週※但し、４週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・〇〇科　※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

※救急部門は12週とし、8週をローテーションとして割り振り、残り4週は救急当直研修として充当する。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： 030772	臨床研修病院の名称:津軽保健生活協同組合　健生病院
	臨床研修病院群番号： 0307726	臨床研修病院群名:津軽保健生活協同組合健生病院基幹型病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号：030772601

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週				5～8週				9～12週				13～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
凡例　○×病院（○×○×○×）	内科	5																																																			
凡例　▲■病院（▲■▲■▲■）	外科			3																																																	
凡例　△□病院（△□△□△□）	外科										3																																									
健生病院 (030772)	内科	5				5				5				5				5				2		2		2		1		3				3				3							1	1				1			1
	救急部門（ER）	2				2				2				1				1		1		1				1														2				2				2			2	2			
	小児科							1		1				1				1				2				3		1		2		1		2				2				2				1							
	外科	1				1								1				1				2				2		2		2								2				2						2		2			
	産婦人科																																												2	2							2
	整形外科	1				1		1		1				1				1				1				2		1		2		1		2				2				2				1							
	リハビリテーション科																			2		2						1		1				2						1		1			2	2			2	2			
あおもり協立病院 (030812)	内科	1				1				1				1				1															1	1				1				1				1				1			
川久保病院精神科 (096412)	内科																																																				
藤代健生病院 (030811)	精神科																																																	1			
生協さくら病院 (070023)	精神科																																																	1			

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

病院施設番号： 030772	臨床研修病院の名称:津軽保健生活協同組合　健生病院
臨床研修病院群番号： 0307726	臨床研修病院群名:津軽保健生活協同組合健生病院基幹型病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次・いずれかに○）

プログラム番号:030772601

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週				5～8週				9～12週				11～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
健生病院（030772）	内科	2			2	3				3	2			5			1	6				3				3			1	2				2																			
	救急部門(ER)	2	2			2				2																																												
	小児科																																																					
	外科																																																					
	産婦人科	2						1		1	1			1					1			1		1		1	1			1		1		1																					
	整形外科																																																					
	リハビリテーション科																																																					
あおもり協立病院（030812）	内科																1	2				2				2				2				2																					
川久保病院（096412）	内科	1				1				1											1	1				1				1				1																					
藤代健生病院（030811）	精神科	1				1				1			1	1					1			1		1		1						1		1																					
生協さくら病院（070023）	精神科	1				1				1						1		1									1			1																									
黒石診療所（032018）	地域医療	1				1					1			1							1	1				1																													
中部クリニック（032021）	地域医療				1	1				1											1	1				1			2	2				2																					
八戸生協診療所（032022）	地域医療										1			1															1	1				1																					

さわやかクリニック（126827）	地域医療			1	1	1								
選択										3 3 2	10	10	10	10

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医（指導医）
内科	長谷　良志男	健生病院	名誉院長	42	○	日本外科学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、民医連関東甲信越医師臨床研修センター主催第 18 回臨床研修指導医講習会修了	030772601	4
内科	加藤　直樹	健生病院	医長	38	○	第 2 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
内科	竹内　一仁	健生病院	院長	31	○	日本プライマリ・ケア連合学会認定医・研修指導医、日本内科学会認定医・総合内科専門医、第 2 回臨床研修指導医セミナー修了	030772601	3、4
内科	千葉　大輔	健生病院	副院長兼診療部長	22	○	日本内科学会認定医、肝臓病学会肝臓専門医、ピロリ菌感染症認定医、消化器内視鏡学会専門医、総合内科専門医、第 7 回東北ブロック医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
内科	阿部　慎一	健生病院	科長補佐	19	×	日本内科学会認定内科医、総合内科専門医、日本循環器学会専門医	030772601	

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（84 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医（指導医）
内科	石田　晋吾	健生病院	医師部部長兼医長	19	○	日本内科学会認定医、総合内科専門医、日本プライマリ・ケア学会認定医・指導医、H・pyrori 感染症認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、専門胃瘻造設者・管理者、第 15 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
内科	岡野　奈穂子	健生病院	科長	15	○	日本内科学会認定内科医、第 18 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
内科	相樂　繁樹	健生病院	科長補佐	18	×	日本内科学会認定内科医、総合内科専門医	030772601	
内科	有明　千鶴	健生病院	医長	10	○	認定内科医、日本カプセル内視鏡学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、第 28 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	030772401	4
内科	宮原　圭佑	健生病院	科長	15	○	日本内科学会認定内科医、日本プライマリ・ケア学会家庭医専門医、第 18 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了、日本プライマリケア連合学会家庭医療指導医	030772601	4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（84 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医（指導医）
内科	三上　裕嗣	健生病院	科長補佐	14	○	日本内科学会認定内科医、第 20 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
救急	太田　正文	健生病院	科長	23	○	日本救急医学会専門医、第 5 回臨床研修指導医のための EBM 講習会修了	030772601	4
救急	中澤　愛	健生病院	医長	12	○	日本救急医学会専門医、第 28 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	030772601	4
救急	徳竹　雅之	健生病院	医長	10	○	日本救急医学会専門医、第 28 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	030772501	4
救急（HCU）	鳥谷部　陽一郎	健生病院	医長	22	○	日本救急医学会専門医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、特別管理産業廃棄物管理責任者、認定内科医、認知症介助士、第 1 回坂総合病院臨床研修指導医講習会修了	030772601	4
救急（HCU）	杉山　佳奈	健生病院	医長	13	○	日本内科学会認定医、第 22 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了、救急科専門医	030772601	4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（84 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医（指導医）
麻酔	辻本　功弘	健生病院	医師	37	○	麻酔科標榜医、第2回臨床研修指導医セミナー修了	030772601	4
麻酔	岩島　未奈	健生病院	科長	11	○	日本麻酔科学会認定医・専門医、麻酔科標榜医、第25回特定非営利活動法人良陵協議会臨床研修指導医講習会修了	030772601	4
小児科	田代　実	健生病院	副院長兼医師部次長	32	○	ＩＣＤ、日本小児科学会専門医、第2回臨床研修指導医セミナー修了	030772601	4
小児科	國吉　保孝	健生病院	科長	22	○	日本小児科学会専門医、HANDS－FDF－2007第2回（指導医講習会）修了、日本感染症学会指導医・専門医	030772601	4
小児科	加村　梓	健生病院	医長	21	○	日本小児科学会専門医、第15回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
小児科	髙橋　夏生	健生病院	医長	9	○	小児科専門医、PALSプロバイダー、ALSOプロバイダー、民医連関東甲信越医師臨床研修センター第23回臨床研修指導講習会修了	030772601	4

※　「担当分野」欄には、様式10別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医（指導医）
外科	伊藤　真弘	健生病院	医師	37	○	日本外科学会専門医、民医連関東甲信越医師臨床研修センター主催第 18 回臨床研修指導医講習会修了	030772601	4
外科	佐藤　衆一	健生病院	副院長	26	○	日本外科学会専門医、日本外科学会認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、検診マンモグラフィー読影認定医、医師臨床研修指導医セミナー修了、日本がん治療認定医機構癌治療暫定教育医、日本外科学会指導医	030772601	4
外科	原　隆志	健生病院	医長	40	×	日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、消化器がん外科治療認定医、ICD、マンモグラフィー読影認定医	030772601	
外科	笹田　大敬	健生病院	副院長	31	○	日本外科学会専門医・技術認定、JATEC インストラクター、第 13 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
外科	境　剛志	健生病院	医局長兼科長	22	○	検診マンモグラフィー読影認定医、日本外科学会専門医、地域医療臨床研修センター第８回臨床研修セミナー修了、日本内視鏡外科技術認定医、消化器病専門医	030772601	4
外科	兼田　杏理	健生病院	科長補佐	14	○	第 24 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（84 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医（指導医）
整形外科	木村　宗一郎	健生病院	科長	21	○	日本整形外科学会専門医、第９回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了、令和元年プログラム責任者養成講習会修了	030772601	1.4
整形外科	那須　智彦	健生病院	医長	13	○	日本整形外科専門医、第９回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
整形外科	三浦　和知	健生病院	医長	29	○	日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会、日本肩関節学会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会、東北整形災害外科学会、第９回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
産婦人科	齋藤　美貴	健生病院	副院長	32	○	日本産婦人科学会専門医・指導医、母胎保護法指定医、第２回臨床研修指導医セミナー修了	030772601	4
産婦人科	橋本　吏可子	健生病院	科長	29	○	日本産婦人科学会専門医、母体保護法指定医、東北ブロック医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（84 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等　　病院施設番号：030772　　臨床研修病院の名称：津軽保健生活協同組合　健生病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1　プログラム責任者 2　副プログラム責任者 3　研修実施責任者 4　臨床研修指導医（指導医）
リハビリテーション科	森永　伊昭	健生病院	医師	42	○	ＩＣＤ、日本整形外科学会専門医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、第１回坂総合病院臨床研修指導医講習会修了	030772601	4
リハビリテーション科	宮本　誠一	健生病院	医長	53	×	日本脳神経外科学会専門医	030772601	
リハビリテーション科	白戸　香奈子	健生病院	医長	13	○	第 22 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
精神科	高　僖晙	健生病院	科長	34	○	日本精神神経学会精神科専門医、精神保健指定医、認定施設指導医、第１回臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4
精神科	小鹿　瞳子	健生病院	科長補佐	14	○	精神保健指定医、精神神経学会精神科専門医、第 20 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ修了	030772601	4

※　「担当分野」欄には、様式 10 別紙３の臨床研修を行う分野及び病理（ＣＰＣ）を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
※　「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（84 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
※　欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.　)」欄にページ数を記入すること。

臨床研修病院群の想定時間外・休日労働時間の記載

別紙

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：津軽保健生活協同組合　健生病院　　（　青森県　）

研修プログラムの名称：健生病院初期医師臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働（年単位換算）最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働（年単位換算）前年度実績	C-1水準適用
津軽保健生活協同組合 健生病院	030772	基幹型	青森県	700時間	月3～6回　宿直許可あり	700時間	適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定

※　該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、協力型臨床研修病院については施設番号順に詰めて記入すること。

※　病院群を構成する基幹型臨床研修病院及びすべての協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、Ｃ－１水準適用の状況を記入すること。

※　想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※　臨床研修医においては、従事するすべての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、Ａ水準またはＣ－１水準しか適用されない。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：津軽保健生活協同組合　健生病院　　（　青森県　）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
青森県	津軽地域保健医療圏	津軽保健生活協同組合 健生病院 (病院施設番号:030772)		青森県	津軽地域保健医療圏		津軽保健生活協同組合 藤代健生病院 (病院施設番号:030811　)		青森県	西北五地域保健医療圏		津軽保健生活協同組合 健生五所川原診療所 (病院施設番号:032017)		津軽保健生活協同組合 健生病院初期医師臨床研修プログラム	10
				青森県	青森地域保健医療圏		青森保健生活協同組合 あおもり協立病院 (病院施設番号:030812　)		青森県	津軽地域保健医療圏		津軽保健生活協同組合 健生黒石診療所 (病院施設番号:032018)			
				青森県	青森地域保健医療圏		青森保健生活協同組合 生協さくら病院 (病院施設番号:070023　)		青森県	青森地域保健医療圏		津軽保健生活協同組合 津軽医院 (病院施設番号:032019)			
				岩手県	盛岡保健医療圏		盛岡医療生活協同組合 川久保病院 (病院施設番号:096412　)		青森県	青森地域保健医療圏		青森保健生活協同組合 中部クリニック (病院施設番号:032021)			
				青森県	津軽地域保健医療圏		独立行政法人国立病院機構弘前総合医療センター (病院施設番号:030037　)		青森県	八戸地域保健医療圏		八戸医療生活協同組合 八戸生協診療所 (病院施設番号:032022)			
				青森県	津軽地域保健医療圏		弘前脳卒中センター・リハビリテーションセンター (病院施設番号:070033)		青森県	津軽地域保健医療圏		津軽保健生活協同組合 健生クリニック (病院施設番号:032024)			
							(病院施設番号:　　)		青森県	青森地域保健医療圏		青森保健生活協同組合 協立クリニック (病院施設番号:126826)			
							(病院施設番号:　　)		青森県	青森地域保健医療圏	削除	青森保健生活協同組合 安方クリニック (病院施設番号:)			
							(病院施設番号:　　)		岩手県	盛岡保健医療圏		盛岡医療生活協同組合 さわやかクリニック (病院施設番号:126827)			
							(病院施設番号:　　)					(病院施設番号:　　)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

〇川久保病院・さわやかクリニック
両機関とも北東北地方にあり健生病院と同一の医療団体連合会に加盟する医療機関であることから、臨床研修制度発足以前から相互に研修医の行き来があり、研修上の連携を保ち協同して医師養成をおこなってきた。所在都道府県および同一の2次医療圏を越えているが、研修プログラムおよび制度上に定められた研修目標を達成し、また当院にない科の研修の保証や連携の維持を継続するものである。
2013～2014年度には川久保病院において内科分野を研修医がローテートしており、選択研修においても選択されている。高齢者医療や地域における小規模病院の役割などについて主体的に考える研修がなされている。また、当院にない眼科領域の症例の確保も保証される。さわやかクリニックも地域医療分野で研修医がローテートし、医療過疎地での診療のあり方や医療資源の有効活用など、地域医療における様々な課題に主体的に向き合うことができる研修が行われている。両機関ともプログラムの理念や目標を充分に満たす研修環境が保証される。

※　該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※　病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「〇」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※　当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。